



川崎大師ロータリークラブ 週報

例会日 毎週水曜日 PM12:30~
 例会場 大本山川崎大師平間寺信徒会館
 事務局 〒210-0812 神奈川県川崎市川崎区東門前1-15-10 カーサ石井1F
 Tel.044-277-7569 Fax.044-288-8550
 URL <http://www.kawasakidaishi-rc.com/> E-mail: daisi-rc@eagle.ocn.ne.jp

会長 牛山 裕子
 副会長 須山 文夫
 幹事 水口 衛
 SAA 松本 和晃

第2131回（本年度 第32回）例会 平成29年3月8日 一晴一

- 司会 松本 和晃 SAA
- 点鐘 牛山 裕子 会長
- 斉唱 「4つのテスト」
伊藤 佳子 ソングリーダー



本日の卓話者の紹介 牛山 裕子 会長
 川崎南RC 吉留 嵩様

お客様の紹介 牛山裕子会長
 里見隆之様
 塩田康一様



会長報告

牛山 裕子 会長



地区RC・米山奨学で他クラブへ伺うことが多くあります。自分のクラブに来ると本当にほっとします。ここはたくさんいらっしゃいます。昨日伺ったクラブは9人でした。そういうクラブはそれぞれがお役目分担してお忙しいです。

第9回定例理事会議事録

審議事項1 NPO法人国際RC青少年委員会が合同奉仕活動承認する件

理事会で協議をいたしました。当クラブの理事会としては結論に至りませんでした。現在保留とさせていただきます。明日会長・幹事会で他のクラブのご意見を聞いた上で回答したいと思います。

定款細則の変更について

定款担当委員長が真剣に取り組んでくださっていますがまだこれも調整中と言う事でご報告をさせていただきます。

審議事項9 以前当クラブの会員であった須藤会員が再入会したいと言うことで先月お見えになりました。理事会で入会について検討いたしておりますが条件をクリアすればということをお願いを須藤さんに交渉をしたいと思っております。

報告事項2 2月16日会長幹事セミナー2回目 会長、幹事で出席をいたしました。

お詫び ロータリーチャリティマラソンにゆずりは園から1人出ていただく予定でしたが、当日になって参加していただかず鈴木青少年委員長が同道するということが会場にいかされました。クラブからは竹中裕彦会員と鈴木昇二会員が参加をしたという形になりました。

・2月18日、19日 第33回ロータリー青少年指導養成プログラムLYRAに当クラブの米山奨学生であるサルマ・サンゼさんが参加しました。これも青少年委員長 鈴木昇二さんが同道してくださいました。(8Pに写真掲載)

・2月26日 米山奨学生修了式 猪狩佳亮国際委員長、中村カウンセラー、坂東地区米山委員及び牛山会長出席

・新春四クラブ合同例会の決算書が川崎南RCから届きました。

・2019-20年度ガバナー 今はガバナーノミニージェグネット、先日行われた指名委員会において川崎マリーノロータリークラブの轟 淳次様が選ばれました。そして当クラブからどなたか別途推薦をするのであれば3月16日までに高良ガバナーまで申し出をしなければなりません。その日を過ぎますと自動的に2019年度のガバナーは轟 淳次様になります。

ガバナーエレクトは横浜西RCの湯川さんです。その次の年度ガバナーノミニー横浜中RCの金子さんです。

幹事報告 水口 衛幹事

・3月22日水曜日 18時～ お花見移動例会 恵の本にて行います。出欠の回覧します。ご記入をお願いします。

・3月22日水曜日 午前 さくらポスターの掲示事業 出欠の回覧します。ご記入をお願いします。



・川崎南RCより創立記念メモリアル例会のご案内

4月4日火曜日 午後5時30分より受付開始 日航ホテル11F。集団行動でお馴染みの清原教授(日本体育大学)をお招きしての講演になります。多くの方、ご参加ください。参加される方はご記名をお願いします。(登録料は無料です)

・かわさきのちの電話の広報誌が届いております。回覧

・各クラブ例会変更回覧します。メイクにお役立てください。

出席報告 水口 衛幹事

	会員数	対象者	出席	欠席	出席率
2131回	59	48	28	20	58.33%
2129回	59	59	59	0	100.00%
前々回の修正 メーカーアップ 0名			修正出席率 100.00%		

2月出席報告

ホームクラブ100%

布川二三夫会員、鈴木幹久会員、中村眞治会員
竹中裕彦会員、竹田正和会長、横山俊夫会員
石渡利治会員、岩井茂次会員、鈴木昇二会員
伊藤佳子会員、須山文夫会員、秦 琢二会員
小林勇次会員、牛山裕子会員、沼田直輝会員
宮沢和徳会員、内田省治会員、猪狩佳亮会員
松本和晃会員、磯田 稔会員、黒澤 穰会員
星野祐司会員、八尋匡彦会員、森田尊久会員

2月の出席順位

275% 竹中裕彦会員、牛山裕子会長
175% 鈴木昇二会員
150% 横山俊夫会員、秦 琢二会員、猪狩佳亮会員
125% 中村眞治会員、須山文夫会員、八尋匡彦会員

スマイルレポート (ニコニコボックス)

須山 文夫副会長

船山佳則会員
娘が婚約しました。

裕 茂昭会員
久しぶりに来ました。すみません。



渡辺富士夫会員

吉留様、本日卓話を楽しみにしています。
宜しくお祈りします。

竹田正和会員

・吉留様 本日の卓話、楽しみにしております。
・木蓮の花が咲いてました。春はもう少しです。体調に
気をつけて奉仕活動を頑張りたいと思います。

牛山裕子会長

川崎南RCの吉留 嵩様、本日の卓話を楽しみにお待ちしております。
塩田恵一様、里見隆之様ご同道頂きありがとうございます。

本日のニコニコのテーマ

「吉留様、本日の卓話楽しみにしています。
宜しくお祈りいたします。」

伊藤佳子会員、岩井茂次会員、黒澤 穰会員
竹中裕彦会員、矢野清久会員、水口 衛会員
横山俊夫会員、鈴木幹久会員、野澤隆幸会員
大崎克之会員、細谷重徳会員、出井宏樹会員
布川二三夫会員

44,000円

④職業分類：税理士

- ①炭谷税理士事務所 所長
- ②川崎北税務署 元署長
川崎南税務署 元署長 を歴任
- ③RC歴 2005-06年 副会長（安藤年度）

3分間スピーチ 炭谷博功会員

日頃疑問に思っています米山事業についての私なりの発表させていただきます。

なぜ日本の学生に目を向けられないのかと？

米山事業については戦争で目を掛けたアジア諸国の留学生の支援に貢献しております。また輝かしい実績を重ねてきたことはそれなりに評価したいと思っております。5～6年前になります。ロータリーの友でいたい、ききたいという会員からの投書です。いつの間にか無くなってしまいました。米山奨学についてのお題はありました。中国・韓国・台湾などは日本の援助によって発展を遂げたのでもういらぬんじゃないの？この分日本の学生に振りわければ、こういう意見、高い意欲と能力を持ちながら貧困のために勉学を続けられない学生に目を向けろという意見が多々見うけられました。

米山奨学事業の豆辞典という小冊子をいただいております。この中でよくある質問ということで何故日本人を支援しないのかという質問に対してその答えはいろいろな奨学の設立真書に基づいて一貫して外国人留学生を対象として利用という答えであります。

このような事は運用面でなんとでもできると思うし戦後70年経っているので設立当時とは世界情勢も様変わりしている、現在にマッチしたものに替えればいい話でこの奨学事業に携わる役員の方は日本人に目を向ける気がないんでないかなと思っています。

それから反日国で留学生でなぜ支援するのかという質問に対して国家間の問題を個人に置き換えることなく1人でも多くの日本の理解者、日本の友人を作ることが奨学事業の使命と考える。私には詭弁と思えます。

中略

職業情報委員会 鈴木幹久委員長

3分間スピーチ

炭谷博功会員紹介 プロフィール

- ①RC入会 1996年2月24日 21年
- ②出身 北海道岩見沢
- ③学歴 国税庁 税務大学校卒



現行の米山奨学事業の使命は完全に終わったとみるべきだと思えます。現在のロータリアンでこの奨学事業の現状を踏まえた上で将来に向けてあるべき姿を米山奨学事業のあり方、委員会のようなものを作り早急に検討して貰いたいと思っています。

たとえばかたくなに外国人だけという枠にしないで日本の学生にも門戸を広げて貧困のために進学の道を閉ざされている人には日本の大学でも良いのではないかと4年間、あるいは大学院まで面倒をみるという大改革を期待しているんです。

私の一方的な考え方でしたがぜひひとつ日本人に向けて奨学制度を発展してもらいたいなと思っているしだいで

卓話

卓話者紹介 渡辺富士夫会員

略歴

吉留 嵩様

1947年（昭和22年）4月鹿児島県生まれ。
早稲田大学卒。数社の会社勤務後1997年ヨシトメ産業(株)設立。代表取締役、現在に至る。ロータリー歴は2010-2011年川崎日吉RC会長・川崎日吉RCは現在川崎南RCに編入。鹿児島県内の契約農家50数軒と「薩摩なた豆」で地域おこしに参加。

卓話 吉留 嵩様

演題「なた豆で地域おこし」

川崎南RCから来ました吉留です。
川崎日吉RCにはじめにいましたがその時の会長が渡辺さんと同じ同時期だったんです。

非常にお世話になりロータリー歴、短かったのですが会長時代はいろいろと渡辺さんに教えて貰いました。本日もこうしてお招き頂きましてありがとうございます。皆さん、なた豆をご存じでしょうか。なた、まさになたに似ているでしょう。この中に赤い豆が入っています。鹿児島産は赤です。中国産は白です。明らかに違います。ポリフェノールという成分が全然違います。最近本来のなた豆でない製品が多数出回っています。4月に豆を植えて10月、11月に収穫です。現在鹿児島でしかとれません。シラス台地が良いです。火山灰なら良いのかと阿蘇山麓、富士山麓で作りましたがまず農家の方が続かないのです。収穫が少ないです。鹿児島では非常に苦労してなた豆は400年の歴史があるのですが若いさやを漬け物に

していました。今名残が福神漬けにあります。福神漬けの中にひょうたんの形をしたものが入っていますが、これがなた豆です。去年7月20日TBSの水曜日のダウンタウンという番組で福神漬けを取り上げまして、ひょうたん型の形何と？

ほとんどの人は答えられなかったですね。皆さんカレーのお供の福神漬けを皆さん見てください。ひょうたん型なのがなた豆の若さやです。その番組になぜか私もなた豆の専門家と言う事で取材を受けました。30分取材されましたが放送されたのは何と2分くらいでした。

今日はなた豆で地域おこしをしようと思っています。今地方創生が非常に騒がれています。皆さんもお持ちのロータリーの友、3月号の一番始めに地方創生、ひと・まち・仕事と出ています。これは倉敷の話でした。まだまだ倉敷というのは私などからすると恵まれていると思います。鹿児島、九州地方、東北、北海道などどんどん人が減っています。高齢化になって後継者がいないと、農家をする人がいないです。そこで鹿児島ではなた豆を地域おこしにしようとしています。今日は特別ゲストで内閣府地方創生推進室 塩田康一様を呼びましたので私が25分間話をして、あと5

今日地方創生が非常に騒がれています。皆さんもお持ちのロータリーの友、3月号の一番始めに地方創生、ひと・まち・仕事と出ています。これは倉敷の話でした。まだまだ倉敷というのは私などからすると恵まれていると思います。鹿児島、九州地方、東北、北海道などどんどん人が減っています。高齢化になって後継者がいないと、農家をする人がいないです。そこで鹿児島ではなた豆を地域おこしにしようとしています。今日は特別ゲストで内閣府地方創生推進室 塩田康一様を呼びましたので私が25分間話をして、あと5

今日はなた豆で地域おこしをしようと思っています。今地方創生が非常に騒がれています。皆さんもお持ちのロータリーの友、3月号の一番始めに地方創生、ひと・まち・仕事と出ています。これは倉敷の話でした。まだまだ倉敷というのは私などからすると恵まれていると思います。鹿児島、九州地方、東北、北海道などどんどん人が減っています。高齢化になって後継者がいないと、農家をする人がいないです。そこで鹿児島ではなた豆を地域おこしにしようとしています。今日は特別ゲストで内閣府地方創生推進室 塩田康一様を呼びましたので私が25分間話をして、あと5

分間を今日の卓話の品評と国が安倍内閣が地方創生に非常に取り組んでいるので国の地方創生のあり方など話をさせていただきたいと思います。

少しビデオを見てください。これは鹿児島地方局で流したものです。

400年の歴史があるといいましたが農家の人が2、3本家庭菜園で植えていて、適当な大きさになったらちぎって自家製の味噌に漬けていたんです。それが産業化となると千本、一万本を作らなければならないので家庭菜園で2、3本作るとわけが違いました。なた豆の生産方法を確立するのに10年～15年くらいかかりました。今は新しくなた豆生産農家になっても先輩が教えてくれますので順調に作れます。去年で54名、これから100軒、200軒としていきたいと思っています。これが本当の地域おこしでないかと思っています。火山灰台地が良いのですが、阿蘇山麓、富士山麓で作ったものは全部失敗しています。他の地域ではできません。鹿児島のシラス台地が非常に良いですね。これをほっておくことはありません。今はコメを作るよりなた豆を作った方が10倍くらいの収穫がございませぬ。薩摩なた豆と商標登録をとっています。鹿児島で膿み取り豆といわれていたのですが歯槽膿漏とか蓄膿、痔、腎臓こういったものによいことありますね。健康雑誌なのでこういうことが書けますが私共が出すとすると薬事法的に問題です。何故鹿児島かといろいろ書いてございませぬ。なた豆をつくとみんな元気になるんです。なた豆からポリフェノールのようなものをもらって、生産農家の方はなた豆に触りますから元気になります。

8P

なた豆が有効といわれる症状

- 歯槽膿漏（歯周病）
- イボ痔、切れ痔、痔ろう、脱肛
- 吹き出物、面疔
- 蓄膿症、扁桃炎、口内炎
- 腎臓病、むくみ
- ポッコリ腹、メタボ腹の改消

10P

山田紘充先生

なた豆の歯磨きを開発されました。

12P

伊藤道一郎先生

蓄膿症に有効と臨床試験結果を学会で発表

14P

腎臓に良いと内科の先生がいます

あとは体験者

一番最後に商品名

なた豆元気茶、歯磨き、石けんなどもございませぬ。

気をつけていただきたいのは

薩摩なた豆 鹿児島産というマークの入っている物を是非買って頂きたいと思っています。

今の時期特別に20%引きでお申し込み頂けます。なた豆元気茶 花粉症・鼻炎にも良いです。歯磨きは普通の歯磨きの代わりに使って頂ければ歯周病、口臭を防ぎませぬ。マウスウォッシュもございませぬしサプリメント、石けんがございませぬ。

詳しくは薩摩なた豆物語という本もございませぬ。

なた豆が地域おこしになれば地方創生にもいくらかはお手伝いできるのではないかと思いますしその辺をこれからも頑張っていきます。

現在日本の農業の最大の課題は、農家の高齢化と後継者がいないことです。

我が故郷 鹿児島県も例外ではなく、このままでは先祖が苦勞して守ってきた

田や畑が不耕作地になりつつあります。

そこで田や畑になた豆を定植すべく約20年間苦闘してきました。

なた豆は気候が温暖で水はけが良くミネラルが豊富な土壌でなければ

生育しません。鹿児島は気候温暖、桜島の古代火山灰が堆積する「シラス台地」であり、水はけ良くミネラル豊富です。

鹿児島はなた豆の最適地であり、仲間と共に生産方法を確立してきました。

これからのなた豆生産地を生産者を増やし、同時になた豆商品の販売ルートを

積極的に開拓して行きます。

尚、鹿児島県で生産するなた豆は「薩摩なた豆」で商標登録。ブランド化して参ります。

内閣府地方創生推進室 塩田康一様

鹿児島ラサール高校から東京大学法学部を出られまして経済産業省（元通商産業省）

に入省されました。

今は内閣府に出向されています。地方創生推進室次長です。

川崎南ロータリークラブが3月28日（火）1時～1時30分

地方創生ということで塩田康一様に卓話をやって頂くようになりました。そのきっかけは今日でした。

たっぷり話をして頂きますので興味のある方はどうか川崎南RCに来て頂ければよろしいかと思います。

卓話 塩田康一様



出身が鹿児島で昨年は赤穂RCの関係で薩摩なた豆を赤穂武士が食べたというご縁ですが、赤穂義士スタイルに着替え行列に参加しました。その時一緒だったのが山鹿RC会長が鹿児島出身の方でした。今年8月に山鹿の祭りに行くことになっています。いろいろなおつきあいをさせていただいております。ロータリーの皆さんにも大変ご縁をいただいているところであります。

地方創生ということでこの3年くらい自治関係の仕事をしておりますが、昔から地方は大変だということで地域工業開発促進法などやってきてはいたのですが、いよいよ少子高齢化が進んで地域ではどんどん人気がなくなって消滅するというようなことがいわれはじめ地域と地域創生本部が内閣官房に出来、私共の内閣府地方創生推進室が交付金の制度や計画の策定の支援をしているということです。

具体的には地域と仕事ですから地方には仕事があれば人は来ない。どんどん東京に来てしまうという現実がございます。

また人の流れを地方に戻すということだと仕事にあわせて居住環境。高齢の方ですと医療、介護機能もしっかりしていなければいけないし、いった先でのいろいろな都市機能がないといけないということで、そういうまちづくり、観光にしても農業関係にしても地域には人材がないという意味での人材育成、都会の経験資格を持った方が地方で働くというような人材のマッチングやいろいろなことをやっております。

地域におけるいろいろな情報支援、財政的な支援、人材の支援をやっています。

先ほどご紹介頂きましたなた豆、こういった取り組みは全国各地の地域資源をもう一度きちんと掘り起こして地域のどうやって活性していくか総合戦略を各地域で作っていくこの川崎周辺はいろいろな工場もあり恵まれていますが多く地域は観光や農業の振興というところになってます。

鹿児島でもなた豆だけではございませんでオリーブオイルを作ろうとかアーモンドを植えようとか桑の木を

植えてシルクを医薬品に活用できないかとかいろいろな取組みがあります。全国的に地域支援を活用した取組みがございます。

そういうことを私共応援をしていこうとしています。皆様方今回の総合戦略は地方だけではなく都市部も含めて日本全国で広域的に普及して伝達して日本が元気になっていくそういうことを考えております。

いろいろご縁もありますので宜しくお願いします。

謝辞 牛山 裕子会長
吉留様、塩田様ありがとうございました。今、非常に大切そうなた豆おしまいになってしまったんですね。私近くで見せて頂いたのですが皆様にお返ししたいくらいすばらしく綺麗ないいお豆です。初めて皆さんご覧になりましたか？ こういう農業で地域おこしを出来るというのは本当に素晴らしいことだと思います。ご苦労も多いと思いますけれど今後ともご活躍くださいますようご祈念申し上げます。ありがとうございました。

●点 鐘 牛山 裕子会長



R Y L A 参加、サルマ・サンゼ君

日時：平成29年3月29日(水)

休会 (定款細則に基づく) です



小林 勇次/秦 琢二/沼田 直輝

2月度 出席報告

氏名	例会数	ホームクラブ	メークアップ	出席率	ホームクラブ100%	備考	氏名	例会数	ホームクラブ	メークアップ	出席率	ホームクラブ100%	備考
寺尾 巖	4	2	1	免1回			須山 文夫	4	4	1	125	○	
布川 二三夫	4	4	0	100	○		秦 琢二	4	4	2	150	○	
長島 亨	4	1	0	免3回			小林 勇次	4	4	0	100	○	
島岡 栄基	4	2	0	免2回			牛山 裕子	4	4	7	275	○	
遠藤 悦弘	4	3	0	免1回			坂東 保則	4	1	2	75		
鈴木 幹久	4	4	0	100	○		須釜 賢治	4	1	0	免3回		
宮山 光男	4	3	0	75			船木 幸雄	4	3	0	75		
野沢 隆幸	4	3	1	100			飯塚 元明	4	1	0	25	○	
林 鶴	4	1	3	100			沼田 直輝	4	4	0	100		
安藤 賢一	4	2	0	50			中村 孝	4	3	0	75		
小泉 敏和	4	0	0	免4回			宮沢 和徳	4	4	0	100	○	
嶋崎 嘉夫	4	2	0	50			出井 宏樹	4	3	1	100		
炭谷 博功	4	3	0	75			内田 省治	4	4	0	100	○	
中村 眞治	4	4	1	125	○		永松 慎太郎	4	2	0	50		
細谷 重徳	4	3	0	75			大崎 克之	4	2	1	75		
竹中 裕彦	4	4	7	275	○		猪狩 佳亮	4	4	2	150	○	
久保 博和	4	1	0	25			金澤 康治	4	1	0	免3回		
倉成 保巳	4	1	0	免3回			松本 和晃	4	4	0	100	○	
大藪 善一	4	2	0	免2回			松井 昭三	4	1	0	免3回		
竹田 正和	4	4	0	100	○		磯田 稔	4	4	0	100	○	
横山 俊夫	4	4	2	150	○		黒澤 穰	4	4	0	100	○	
石渡 利治	4	4	0	100	○		木村 秀文	4	1	0	25		
渡辺 富士夫	4	3	0	75			船山 佳則	4	2	2	100		
布野 真治	4	1	0	免3回			星野 祐治	4	4	0	100	○	
清水 宏明	4	1	0	免3回			碓 茂昭	4	1	0	25		
白石 浩司	4	1	0	25			八尋 匡彦	4	4	1	125	○	
矢野 清久	4	3	1	100			森田 尊久	4	4	0	100	○	
岩井 茂次	4	4	0	100	○								
鈴木 昇二	4	4	3	175	○								
伊藤 佳子	4	4	0	100	○								
石渡 勝朗	4	3	0	75									
水口 衛	4	3	1	100									
							出席率	84.58%					

ハイライトよねやま 204

2017年3月13日発行
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

寄付金速報 — やや回復傾向に—

2月までの寄付金は、前年同期と比べて5.2%減（普通寄付金1.1%増、特別寄付金8.6%減）、約6千万円の減少となりました。7月からの累計金額は近5年間のほぼ平均額ですが、2月単月では3カ月ぶりに対前年同月比がプラスとなりました。多くのロータリアン、学友の皆さまからのご支援に心から厚く御礼申し上げます。今年度も残り3カ月半となりました。年度末に向けて、さらなるご協力賜りますよう、よろしくお願いたしました。

ミャンマーに9番目の海外米山学友会が誕生！

ミャンマー出身の学友・奨学生 22人が2月25日、ヤンゴン市内に集まり、海外9番目の米山学友会となるミャンマー米山学友会の設立総会が開催されました。初代会長に就任したタンシンナインさん（2003-05/東京調布RC）は東京米山ロータリーEクラブ 2750の会員であり、同学友会の創立を心待ちにしていた第2750地区会員をはじめ、学友の世話クラブ会員、当会から小沢一彦理事長と岩邊事務局長など、日本から多数のゲストが出席。また、2014年に旭日小経賞を受賞したミャンマー初の米山奨学生、アウン・チョウさん（1962-66/東京北RC・東京南RC）も家族とともに参加し、総勢約60人が設立を祝いました。地道に学友を探して学友会設立への準備を重ねてきたタンシンナインさんは、「今後は、日本語を学ぶ学生への奨学金支給や貧しい小中学校への支援なども行いたい」と、抱負を語りました。



マレーシア米山学友会が設立記念パーティーを開催

昨年9月に設立されたマレーシア米山学友会の設立記念パーティーが2月18日、ペナンで開催されました。マレーシア出身の奨学生・学友 20人のほか、初代会長となった黄麗容さん（2001-04/横浜泉RC）の出身である第2590地区の米山記念奨学会メンバーをはじめ、第2780地区・第2860地区・第2550地区のロータリアン、関西・台湾・タイの各米山学友会の会長や会員、家族など多数が参加。また、地元ジョージタウンRC、ペナンRCの会員も祝福にかけつけ、総勢113人の盛会となりました。パーティーでは、学友会の立ち上げから参加している現役奨学生、チューア一、チーエンさん（真岡RC）の司会のもと、黄会長から設立に至るまでの経緯や感謝が述べられ、在ペナン日本国総領事や当会の小沢理事長から、学友会への期待を込めた祝辞が贈られました。余興の民族舞踊にゲストも参加するなど、終始楽しいムードで盛り上がり、日本からの参加者の一人は、「あらためて米山奨学事業に加わることができてうれしいと感じました」と、感想を述べてくださいました。



学友が「若者力大賞」を受賞！

社会のために情熱を持って活動に取り組む若者とその支援者を表彰する「若者力大賞」(主催：公益財団法人日本ユースリーダー協会)の授賞式が2月21日に開かれ、米山学友のジキヤン・クマル・タパさん（2008-09/横浜たまRC）が第8回若者力大賞を受賞しました。外国人の受賞は今回が初とあり、当日は駐日ネパール大使のほか、在日ネパール人協会関係者、ネパールの報道関係者も多数駆けつけました。

タパさんは現在、かながわ国際交流財団職員および駐日ネパール大使公使公式通訳者として活躍していますが、地域への政策提言のほか、日本の学生が海外への理解を深める講演活動、また、ネパール大地震や熊本地震などを被災地における継続的支援といった、幅広い活動と行動力が高く評価され、69組のエントリーの中から見事大賞に輝きました。



大賞を受賞したタパさん(前列左から3人目)

ただいま！久しぶりの世話クラブ訪問

董際国さん（中国/1998-99）は今年1月、約20年ぶりに世話クラブの山形中央RCを訪問し、新年会に参加して会員との交流や餅つきを楽しんだほか、博士号取得の記念品を受け取りました。「多くのロータリアンの方が私を見て“思い出した！”とニコニコし、里帰りしたような温かい記憶が蘇りました。(博士号取得記念の)腕時計は私の一生の宝で、誇りです」と語り、今度は家族での再訪を約束しました。

剣道の中国代表選手となった楊敬峰さん（中国/2004-05）は2月10日、教え子である蘇州大学の学生3人とともに来日し、水戸南RCを訪問。カウんセラの奥様の臺参りをしたほか、例会で自身の近況を報告し、学生が中国武術や太極拳を披露しました。「知っている会員は少なくともはるばる来日した。今もこれからは米山奨学生に感謝しています」と、語りました。

また、関美希さん（中国/2003-04）も2月17日に上海から東京武蔵府中RCを訪れ、会員に近況を報告。「緊張して頭が真っ白になり、何をか挨拶したか覚えていないくらいですが、米山奨学金のおかげで実験や論文作成に集中できた。当日が昨日のことのように胸糞に浮かび、本当に感動しました」と、述べました。

南米ホンジュラスからははるばる来日したエドナ・スヤパ・メヒア・ガルダメスさん（2006-07）は帰国以来10年ぶりに来日し、世話クラブの東広島RCの例会を1月に訪問。同クラブでは今後、母国で日本語を教える幼稚園・小学校を設立したエドナさんとの交流を深め、活動を応援していきたいと考えているそうです。



E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>
編集担当：野津(のづ)・峯(みね)

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
Tel : 03-3484-8681 Fax : 03-3578-8281